

# 民主

PRESS MINSHU

2007年春号  
号外

民主党プレス編集部  
〒100-0014東京都千代田区永田町1-11-1  
電話 03-3595-9988 (代表)  
press@dpj.or.jp http://www.dpj.or.jp

## 七戸じゅんサポーターズクラブ

〒107-0052 港区赤坂6-19-7-308  
TEL: 03-3583-2666 FAX: 03-3583-2655

E-mail: jun7@din.or.jp

七戸じゅんの活動や政策の最新情報がインターネットでご覧になれます。

<http://www.jun7.net/>

七戸区議の政策と活動を紹介します。

## 港区議会議員

しちのへ

# 七戸じゅん

# 赤坂版



### 七戸じゅんプロフィール

昭和35年8月に誕生。しし座のB型。

■学歴 明治大学政治経済学部政治学科卒業 法政大学大学院経営学修了  
MBA取得

■職歴 (株)リクルート入社 コンピュータソフトウェア開発会社及び財務系人材紹介会社を設立

■港区のお手伝い 東京青年会議所港区委員長活動

☆港区わんぱく相撲大会 ☆港区国際フットサル大会

☆お台場クリーンキャンペーン等を企画運営

☆港区政50周年記念事業 実行委員長として兼高かおる委員長のものと、

●世界子供会議(赤坂区民ホール) ●みなとフェスティバル(竹下横橋)

●ビックエム港区民500コンサート(サントリーホール)等を実施

元港区介護保険政策検討委員、プラザみなと委員、

(社)日本JC電機情報部会会長

■現在 平成15年4月に当選後、建設常任委員会副委員長

まちづくり・子育て特別委員会に所属しています。

平成18、19年度 赤坂ライオンズクラブ会長

七戸じゅんが掲げた今期の赤坂ライオンズクラブ スローガン

『日本の未来を真剣に!! 勇気と情熱 本気で動こう we serve』

■感銘を受けた本 武士道(日本人としての誇りとモラルを大事にしていきたい)

### ■港区全体 赤坂地区(青山含む) 統計

	平成5年度	平成18年度
総数	152,784人	183,178人
赤坂・青山地区	29,371人 (約20%)	29,133人 (16%)
外国人登録数	12,093人	20,037人

平成18年現在の港区全体の人口に対する赤坂・青山地区の割合は16%です。13年前の平成5年の時点では、20%を占めていました。平成5年から18年までの間に、港区全体では30,394人も人口が増加しているにもかかわらず、赤坂・青山地区では、238人の減となっています。

赤坂・青山地区では、依然として定住促進や子育て世代が住みよい施策が重要な政策課題だと考えています。

また現在、港区では人口の約10% (20,171人 平成17年度現在) が外国人登録者の方たちです。港区の区民税収では外国人登録者が20%を占めているのも事実ですので、外国人の納税者の方々にも行政サービスの還元・環流も必要だと思えます。



## 安全で快適な美しい街に!!

現在、赤坂地区には赤坂駅と赤坂見附駅・青山一丁目駅・六本木駅の地下鉄の駅があり、いずれの駅でも利用者が多くなっています。それに伴い、駅周辺は放置自転車・放置バイクで溢れ、それが点字ブロックの上にも及び、通行の妨げになっています。しかし、現状では駐輪・駐バイク場の確保が困難であり環境美化に向けて町会や商店街の方々も活動して下さっても、放置自転車・放置バイクはなかなか解決できない状況です。また赤坂は、区内でも昼間人口、来街者が多い地区で、駅周辺を中心に歩行喫煙や吸い殻のポイ捨てが目立っています。赤坂の住民や広聴メールでも、歩行喫煙やポイ捨てに対する苦情が多く寄せられています。町会単位で定期的に清掃活動は行われていますが、まだまだ無くならないのが現状です。「みなとタバコルール」の実施など地域が一丸となった積極的な取り組みが必要と考えています。解決が困難だからと言って、点字ブロックの上まで自転車やバイクが放置してある状況、歩行喫煙や吸い殻のポイ捨てを見て見ぬふりをすることはできません。

そこで、七戸じゅんはそうした現状を打開すべく、議会や委員会において、放置自転車・バイク対策や歩行喫煙・ポイ捨て対策などマナーとモラルの向上、意識改革の取り組みを強力に推し進めるよう強く訴えてまいりました。その結果、以下の施策が生まれています。

- ・赤坂見附駅周辺において、駐輪・駐バイク場(自転車50台・バイク40台程度)を整備計画が進められています。
- ・赤坂駅周辺(千代田線)、赤坂5丁目TBS開発において、駐輪場(130台程度)の設置計画が進められています。
- ・本年10月から、放置自転車・放置バイク対策キャンペーンを、赤坂見附駅、赤坂駅周辺、青山一丁目駅周辺等で継続的に展開されています。
- ・赤坂・青山地区の主要駅周辺に指定喫煙コーナーを設置し、この地区を歩行喫煙・ポイ捨て禁止区域に指定するなど、「みなとタバコルール」キャンペーンの実施が予定されています。

## 私達が七戸じゅん君を応援します。



衆議院議員 小沢一郎 前衆議院議員 海江田万里 東京都議会議員 大塚たかあき 港区長 武井雅昭

七戸じゅんは区政勉強会及び区政相談を随時行っております。ご希望の日にも、時間をお知らせください。区民の皆さまの意見をお聞かせください!!!

## サポーター募集!!

七戸じゅんサポーターズクラブの会員を募集しています。一緒に街頭演説を手伝って下さる方、資金カンパをして下さる方大歓迎です。ご連絡お待ちしております。

連絡先

TEL 03-3583-2666

ホームページURL: <http://www.jun7.net> E-Mail: jun7@din.or.jp

みずほ銀行 赤坂支店 普通口座1891577 七戸じゅん後援会 七戸じゅん



# 「日本の未来を真剣に!! 勇気と情熱 本気で動く!!」

## 活動報告

### ●都景観条例が改正の見通し

七戸じゅんが当選時から働きかけてきた『景観を重視した街づくり』が都でも取り上げられ来年の4月には『改正景観条例』として施行される見通しです。昨今六本木の某店舗屋上の施設やイタリア文化会館の色などが、周辺景観とのミスマッチだと判断されても、罰則規定を含めての強制力は無く問題が放置されていましたが、改正後は景観に配慮した建設が進む事となります。

都の改正案の特徴は①景観形成に大きな影響を与える大規模建築物に対し②事前協議制を導入し③50万円以下の罰金も条例に組み込む予定です。この条例が施行されれば総合設計制度の赤坂TBSなども事前協議制度の対象となります。

### ●「赤坂物語」が復刻しました!!

赤坂物語とは、激動の明治、大正、昭和の赤坂を旧勝海舟邸（現、サンサン赤坂）の庭に今も立つ樹齢200年余の大銀杏が赤坂の人間模様と街の移ろいを語る歴史物語です。この本は、一度廃刊になったものの地元の方々をはじめ多くの人々から復刊を希望する声がよせられていました。この声に応えるべく、復刊を目指しホッピービバレッジの石渡社長、赤坂タウン誌編集担当の日野さん等が中心となり七戸じゅんとともに、資金集めや赤坂物語の著者である河端さんの遺族にお会いして著作権関係の調整をするなどのお手伝いをしました。その結果、2006年5月に新装版として復刊できました。



### ●建設委員会の副委員長として～港区の美観について～

安全や安心、防災などのために再開発は必要ですが、まちづくりにはしっかりとした計画性と地区特性にあった良好な景観が必要だと考えています。このような観点から、街の景観に関連した高さ規制に初めて言及し、建設委員会の副委員長として新宿区議会（新宿区は、高さ制限に関する条例を平成18年3月31日施行）まで直接足を運び情報を収集し見識を深めてまいりました。また、六本木屋上遊戯施設に対しても強い姿勢で対応し、区民、商店街の立場から、区がこれらの問題の解決に向け積極的に対処すべきであると訴えました。このような経緯もあり、平成18年第一回定例会では、中高層建築物紛争予防条例改正にいたりしました。



### ●清掃車の火災事故

今年、赤坂6丁目で、ごみの収集の際、中身の残ったスプレー缶の破裂による清掃車の火災事故が発生しました。これに対して、七戸じゅんは再発防止とその対策の徹底を強く要求しました。（平成18年度予算特別委員会）——現在、行政では全車両に回収用の袋を持たせ中身の残ったスプレー缶等を回収させ、芝浦作業所で中身の抜き取り作業を行ない再発防止に取り組んでいます。（またこのような、事故の再発防止には区民の皆様の御協力も必要です。分別収集やスプレー缶を捨てる際には中身の抜き取りにご協力ください。）

### ●赤坂消防団ポンプ操法大会に隊員として出場

平成18年5月21日に明治神宮外苑絵画館前で行われたポンプ操法大会に参加しました。地域の防災や災害に関心を持つだけでなく、有事の際には区民の方を守り、リーダーシップを発揮出来る様に経験を積んでいます。ポンプ操法では七戸じゅんは一番員としてホースの先を持ち、全体の様子を確認後「放水始め」と合図し注水にあたりました。6チームが参加する中、七戸じゅんが参加した赤坂第二分団のBチームは3位に入賞しました。



### ●赤坂文化・芸術のまちづくり（赤坂メディアアート展）

2007年春、赤坂9丁目には東京ミッドタウンが、また乃木坂駅を最寄りとする国立新美術館がオープンします。東京ミッドタウンには「新サントリー美術館」や「2121 デザインサイト」がオープンし、この地域は新たな日本や世界の文化・芸術の拠点となります。また、2008年にオープンする赤坂5丁目TBS開発には博報堂が移転を予定しています。民放キー局のTBSと合わせて、当地区周辺にはメディア系、デザイナー系の企業や事務所の集積が予想され、七戸じゅんは文化・芸術のまちづくりを推進します。

### ●第三回赤坂チャレンジマラソン完走

平成18年9月30日（土）毎年恒例の赤坂チャレンジマラソンに七戸じゅんは参加いたしました。チャレンジラン3.9kmに挑戦し、赤坂TBSの心臓破りの坂を含むコースを3周し、限りなく最下位に近い成績にて完走しました。



## これからも七戸じゅんは、住民の皆様の声をまちづくりに反映させていきます!

- ・電柱地中化（平成16年度10月1日平成15年度決算特別委員会）  
——現在、赤坂においては一本木通りやみすじ通り等で地中化整備が進んでいます。
- ・皆様から苦情が多かった赤坂見附の路上駐車を取り上げ、駐輪場設置を提案（平成17年3月平成17年度予算特別委員会）  
——現在すでに設置され、さらに拡大しようと考えています。
- ・赤坂駅エスカレーターの常設を確認（平成16年度10月1日平成15年度決算特別委員会）  
——平成20年1月完成予定
- ・赤坂中高生プラザのクーラー設置を提案（平成16年度9月29日平成15年度決算特別委員会）  
——平成17年6月に設置されました。

## 七戸じゅん 平成18年最終定例代表質問

- ①23区再編について
- ②赤坂地区定住まちづくり条例について
- ③土地活用方針について
- ④赤坂地区区道の駐輪場、駐バイク場の活用について
- ⑤安全安心の街づくりのための財源投入について  
(1) 区有施設耐震改修の前倒しを行い安全安心の提供  
(2) 区道等のバリアフリー化

